

特撮美術監督 井上泰幸 関連作品を 中心とする特撮アーカイブ

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

概要／課題

日本の映像史上、重要な「特撮」領域において、大きな足跡を遺した特撮美術監督、井上泰幸（1922-2012）の個展（主催：東京都現代美術館、朝日新聞社）を成果公開の一つとして、井上の携わった特撮作品多数を中心に調査・デジタルデータ化を実施し、貴重なアーカイブとして、展示や図録への利活用を行った。2022年に生誕百年を迎える井上は、円谷英二監督のもと、1954年の「ゴジラ」から本格的に特撮美術の実装に従事し、大きく貢献した。上記展（2022年3月19日－6月19日）に向け、遺族宅に保管中の未整理資料の散逸や劣化を避けるため、スケッチ、デザイン画、絵コンテ、記録写真、ミニチュアやプロップを調査・整理分析・スキャン・リスト化した。

体制／手法

約3000点の現存資料について、個展主催者・担当スタッフのもと、延べ20名超の「井上泰幸アーカイブチーム」を結成し、計50日以上作業によって、未整理資料の開梱・分類整理・採寸・撮影・デジタルスキャンを行った。まずテキストデータのリストを作成、個人資料＋約80の映画作品別カテゴリにそって分類、画像添付し、大型資料の画像についてはデジタルスキャンを行った。

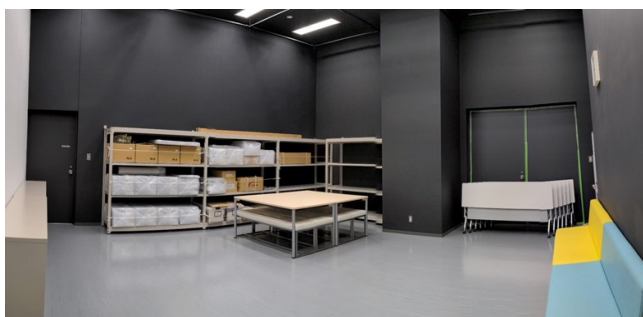
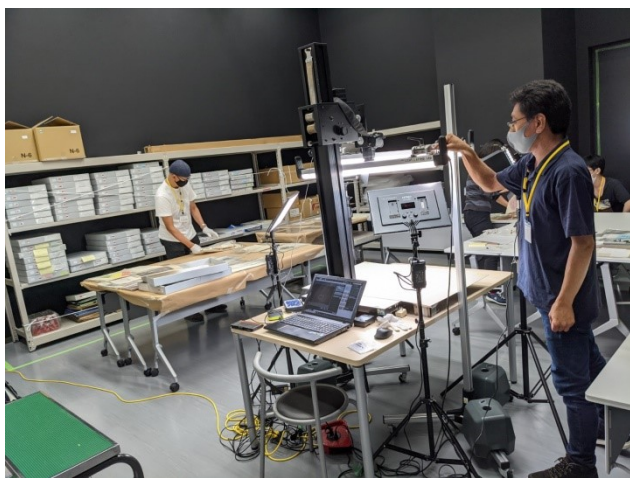
成果

- 初期の個人史資料を含む主な作品資料として、ゴジラ（1954）／空の大怪獣ラドン／キングコング対ゴジラ／地球防衛軍／宇宙大戦争／世界大戦争／妖星ゴラス／青島要塞爆破命令／海底軍艦／ゴジラ対モスラ／怪獣大戦争／ウルトラQ／フランケンシュタインの怪獣 サンダ対ガイラ／連合艦隊司令官 山本五十六／緯度0大作戦／日本海大海戦／日本万国博覧会三菱未来館／ゴジラ対ヘドラ／日本沈没／二百三高地／惑星大戦争／ゴジラ（1984）／「連合艦隊」／竹取物語 など約3000点を対象としリスト化した。
- 現存する井上泰幸関連資料の分類・採寸・撮影が実現し、以降の特撮関連事業（展示・出版・調査研究等）に供することが可能になった。
- 個展（企画協力：特撮美術監督 井上泰幸 実行委員会／特撮研究所／アニメ特撮アーカイブ機構）にて広く一般にアーカイブ成果を展示し、リストの一部は公式ホームページ、関連書籍（キネマ旬報社刊）にて公開・掲載された。
- 資料を俯瞰する調査の結果、未公開資料や新事実が多く発見された。井上による第1作「ゴジラ」制作資料、実現性高いイメージボード、所蔵の映画台本にある書込みから、特撮美術監督の職域を超え演出まで踏み込む井上の表現力や、イメージを具体化する貴重なプロセスを垣間見ることができた。井上の上司・渡辺明によるカラー記録写真や、円谷英二直筆の指示書なども発見され、今後も調査研究の継続が期待される。



■参考図版
「生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展」ポスター案
（メインビジュアル：樋口真嗣）





上右

三池敏夫監督（特撮研究所）による調査

上左

アーカイブチームによる複写・採寸作業

下

資料の調査・分類・採寸・複写等の作業室



横口真嗣 井上泰幸ロゴデザイン（エスキス）2021



（以下、東京都現代美術館の公式HP・リリース・チラシ中面と同じ情報・図版を掲載）

<https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/yasuyuki-inoue/>